

東京2020オリンピック 聖火、再び那覇へ

7月24日から8月9日まで開催される東京2020オリンピック。3月26日、福島県でスタートした聖火リレーは121日間（移動日を含む）日本各地を巡ります。

那覇市に聖火がやってくるのは5月2日（土）。56年振りに那覇に戻ってくる聖火を、みんなで歓迎しましょう。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、予定は変更となる場合があります。

観光課 ☎ 862-3276

5月2日（土）聖火リレースケジュール

出 発		到 着	
9時15分	首里城公園守礼門・園比屋武御嶽石門前	9時25分	玉陵入口
9時47分	新都心公園	10時42分	県民広場

今大会のオリンピックトーチ（実物）を市役所1階市民会議室で展示します。
【展示期間】4月14日（火）～16日（木）



画像提供：Tokyo 2020

1964 NAHA



国際通りを走る聖火ランナー
（那覇市歴史博物館所蔵）

上の写真は今から56年前、の東京1964オリンピックの時の、聖火リレーの写真です。

台風のため1日遅れの9月7日に那覇空港に到着した聖火は、3日間かけて沖縄本島を駆けめぐり、日本本土へリレーされました。

ゴールとなった奥武山陸上競技場には、約4万人の観客が集まりました。聖火の歓迎セレモニーが開催され、泊地バーリーな露が披露されました。



（沖縄県公文書館所蔵）

←聖火リレーの市内のルートは次のページでご紹介します！
交通規制も実施しますので、ご協力ください。

聖火が那覇に やってくる！

はいたい。今年7月に開催される東京2020オリンピックに、つなぐ聖火リレーが、いよいよ沖縄・那覇にやってきます。

沖縄県のトップバッターを務める那覇市は、首里城守礼門・園比屋武御嶽石門（そのひゃんうたきいしもん）前をスタート地としており、あらためて首里城の再建を願う多くの人々の思いを力強く後押しするものと、大きな意義を感じています。

桜がイメージされた輝くトーチを掲げるランナーが、市内を颯爽と駆ける姿を想像するだけで、胸が躍ってまいります。歴史に残る聖火リレーが本市で行われることを心から嬉しく思うとともに、東京2020オリンピックの成功を祈念しています。

那覇市長 城間幹子

私たち聴覚障害者はオリンピック・パラリンピックに出場できる種目がほぼ無いのですが、何か関われないかと考え応募しました。

聖火ランナーに選ばれて大変ビックリしましたが、そこからは感激し、責任の重大さに心配し、そして今はすごくワクワクしています。

那覇市民と障がいのある方々、支えてくれたみなさんの気持ちを胸に、日本代表選手が活躍できる事を祈りながら、聖火ランナーの役目を果たしたいです。



宮城 みくさん
(19)
デフフットサル
日本代表



**ガレッジセール
ゴリさん**
お笑いタレント

聖火ランナーの意気込み

主な紙面

- 東京2020オリンピック 聖火、再び那覇へ…………… 1
- 聖火リレールートと交通規制／まーいまいNahaオープン！ …… 2
- なくそう！望まない受動喫煙 マナーからルールへ／市税や保険料のスマートフォン納付／令和2年は国勢調査の年です …… 3
- 情報バック …… 4～7
- 博物館トピックス／ニュースダイジェスト …… 8
- 折り込み紙：国民年金のお知らせ、家庭ごみの正しい分け方・出し方

総人口 322,074人(5,859人)

男:156,108人(3,043人)
女:165,966人(2,816人)

世帯数 154,825世帯(4,254世帯)

※()内はうち外国人
※総人口と世帯数は2020(令和2)年2月末現在

Facebook



LINE



Instagram



防災 Twitter



マチイロ



そ大ごみ受付

